

(科目名) 街中の美「京都の看板」			(群)	拡大科目群
			(系)	地域交流・貢献科目
			(開講期)	前期／後期
(所属部局)	(職名)	(氏名)	(授業形態)	講義およびグループ討論
国際高等教育院	教授	池田 聖子	(対象回生)	1-2 回生
			(対象学生)	全学生
(授業の概要・目的)				
<p>京都を訪れる多くの観光客は、有名な神社仏閣や祇園界限など、いわゆる京都らしい街並みを散策し、美術館・博物館で日本の美に浸る。一方、京都には毎日触れることのできる街並みの中に素晴らしい美術品が隠されていることには住民でさえ中々気づかない。この授業では京都の看板文化を考察することにより、学生たちに次のステップである調査とそれに基づく提案へ導くための基礎知識を備えさせる。同時に将来のフィールド調査、地元団体との共同作業に必要なチームとしての作業形態に慣れ、地域社会の中で学生としてどのように貢献していくかの道筋を模索させる。</p>				
(授業計画と内容)				
<p>講義には以下のような内容が含まれる：・看板文化の歴史—商業的看板／寺社仏閣の扁額／機能的サインとしての観点からの紹介、・東・西洋看板文化の比較—素材論、文字および書に対する考え方の相違点、・京都の看板—歴史的・美術的価値ある看板、・看板に対する景観条例の影響と効果、・国内外の美しき街並みと看板の占める役割。講義内容によりそれぞれの分野の専門家を随時ゲストとして迎え、講義のみでなく討論の場も設けることにより、学生の社会的見識を高める。「グローバル」な観点をより拡大するため、講義は部分的に英語によるものも含める。海外の資料解説、視聴覚媒体などではできるだけ原文・原語のまま用い、英語力向上の一助とする。</p>				
(成績評価の方法・基準)				
<p>授業への積極的参加、特に討論時等の貢献度（50％）およびセメスターを通して数回提出させる小レポートの完成度（50％）</p>				
(履修要件)				
<p>27年度から開講予定の「看板による街並み景観の美化～調査と提案～」を受講する者には必修。</p>				
(教科書)				
<p>必要資料を随時配布</p>				
(参考書)				
<p>授業内に随時情報の提供を行う</p>				